

静岡県月例経済報告

(平成30年6月号)

……平成30年4月を中心とした県内経済のすがた……

No. 506

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	12
・ 雇用面	14
・ その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成30年4月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成30年4月を中心とした静岡県の景気は、回復しつつある。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外の政治経済情勢に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増勢が一服している。
- ・ 生産は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(4月)は、百貨店が4か月連続、スーパーが2か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも、4か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(4月)は、ホームセンターが2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が2か月ぶり、コンビニエンスストアが2か月連続、ドラッグストアが14か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも14か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(4月)は、乗用車が7か月連続で前年実績を下回ったものの、軽自動車が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総数でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(4月)は、持家、貸家がいずれも3か月ぶり、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(4月)は、2か月連続で前年実績を上回った。

「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(平成30年4月2日)の平成30年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(4月)は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

「輸出は、増勢が一服している」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（4月）は、エアコンが2か月連続、自動車は4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、原動機が2か月連続、自動車の部分品が12か月連続、二輪自動車類、科学光学機器がいずれも3か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額（4月）は、紙類及び同製品が2か月連続、原動機が4か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品が3か月ぶり、木材が4か月連続、パルプが6か月連続、自動車の部分品が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、947億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きに一服感がみられる」

鉱工業生産指数（3月）は、はん用・生産用・業務用機械が5か月ぶり、電気機械が2か月連続、化学、パルプ・紙・紙加工品がいずれも2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、輸送機械が3か月連続、食料品・たばこが2か月ぶりに前年水準を下回ったことから、総合でも3か月連続で前年水準を下回った。また、2か月連続で前月を上回った。

なお、鉱工業在庫指数（3月）は、総合では6か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（4月）は1.68倍で、前月を0.02ポイント上回った。また、51か月連続で1倍を上回った。なお、14か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（4月）は、57か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（3月）は、4か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（4月）は、前年同月比0.4%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（4月）は、前年同月比3.3%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った」

企業倒産（5月）は、件数は24件（前年同月比33.3%増）、負債総額は30億6,600万円（同31.1%増）と、いずれも前年実績を上回った。

<トピックス> 技術革新への対応に向けた新たな研究会の立ち上げ

I o TやA I（人工知能）、ロボット技術などのテクノロジーの急速な進展や、従来のガソリン車からE V（電気自動車）等の次世代自動車への世界的なシフトなど、本県を取り巻く社会経済情勢は、大きな転換点を迎えています。こうした環境の変化に対応し、技術革新を積極的に取り入れ、本県経済を持続的に発展させるため、県は新たに2つの研究会を立ち上げました。

「静岡県E Vシフト・自動運転化等対応研究会」

世界的に進むE V(電気自動車)化や自動運転化などの急速な技術革新に対応する県内企業への支援策を検討するため、県は、産学官連携による「静岡県E Vシフト・自動運転化等対応研究会」を設置し、第1回を6月5日（火）にホテルアソシア静岡で開催しました。

当日は、スズキやトヨタ自動車などの自動車メーカーをはじめとして、部品メーカーや大学、経済団体等から委員が参加し、活発な議論が行われました。

今後は、10月までに研究会を4回程度開催し、その結果を来年度の施策に反映していきます。

<研究会での主な意見>

- ・静岡県は**自動運転の実証実験に適した場所**で、**世界にも発信できる**。
- ・**共通の基盤を生かすこと**で、**製品開発がスピードアップする**。
- ・公道での実証実験には、**規制緩和が必要**である。
- ・**時間が無いこと**が一番の課題。**ものすごく早い変化が求められている**。

「マリンバイオテクノロジー研究会」

県は、21世紀の新たな基幹産業として期待されるバイオ分野に着目し、海洋由来の微生物等を活用するマリンバイオテクノロジーによる産業振興に取り組みます。

取組に当たり、マリンバイオテクノロジーを核としたイノベーションによる新たなビジネスの創出を目指すため、全国のマリンバイオテクノロジーの専門家等からなる「マリンバイオテクノロジー研究会」を設置し、第1回を6月7日（木）に早稲田大学日本橋キャンパスで開催しました。

今後は、9月までに研究会を3回程度開催し、本県における展開の方向性を検討するとともに、産業界や地域が参画する協議会を設置・開催し、事業の推進を図っていきます。

<研究会での主な意見>

- ・駿河湾は**コンパクトな範囲に深さも多様性も全部ある**。研究者にとって、ここに来れば全部あるというのは大きい。
- ・行政が「学」と「企業」の仲立ちをする**産学官連携**が必要。
- ・**食品加工業や水産業は比較的早期の産業応用**の可能性はある。



静岡県E Vシフト・自動運転化等対応研究会



マリンバイオテクノロジー研究会

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

4 月 = 32,240百万円

*前年同月比： 2.8%減

(県内3百貨店、133スーパー合計)

<概況>

4月の大型小売店販売額は32,240百万円で、前年同月比2.8%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比2.7%減）が4か月連続、スーパー（同2.9%減）が2か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも4か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（前年同月比2.8%減）が4か月連続、身の回り品（同7.4%減）が2か月連続、飲食料品（同2.7%減）が10か月連続、家庭用品（同5.4%減）が7か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は2.4%減と、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
販売額(百万円)	31,500	33,613	34,063	42,544	36,380	30,823	33,271	32,240
前年同月比(%)	▲0.8	▲2.3	▲1.5	0.1	▲0.9	▲0.4	▲2.8	▲2.8
うち百貨店(%)	6.0	▲4.4	0.9	0.8	▲2.4	▲1.7	▲2.5	▲2.7
スーパー(%)	▲2.3	▲1.8	▲2.2	▲0.1	▲0.6	0.0	▲2.9	▲2.9
(参考1)全国前年同月比(%)	1.9	▲0.7	1.4	1.1	0.4	0.6	0.1	▲0.8
うち百貨店(%)	4.2	▲0.5	3.6	0.8	▲0.1	0.3	0.9	1.5
スーパー(%)	0.8	▲0.9	0.2	1.3	0.7	0.7	▲0.4	▲1.8
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	0.5	▲1.1	▲0.6	1.3	0.1	0.8	▲1.5	▲2.4

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
衣料品	1.7	▲3.8	▲4.6	0.7	▲5.0	▲0.8	▲1.3	▲2.8
うち紳士服・洋品	3.8	▲1.6	▲4.6	2.0	▲2.7	▲3.5	▲5.0	▲0.3
婦人・子供服・洋品	1.6	▲4.4	▲4.0	0.6	▲6.1	0.9	1.0	▲3.4
身の回り品	6.2	▲3.3	▲3.5	0.0	▲1.6	2.0	▲3.8	▲7.4
飲食料品	▲2.5	▲2.1	▲1.6	▲0.1	▲0.2	▲0.3	▲2.2	▲2.7
家庭用品	1.4	▲4.0	▲4.6	▲5.1	▲1.9	▲2.8	▲4.1	▲5.4
うち家庭用電気機械器具	▲5.4	▲10.4	▲6.2	▲14.7	▲10.1	▲6.9	3.5	1.7

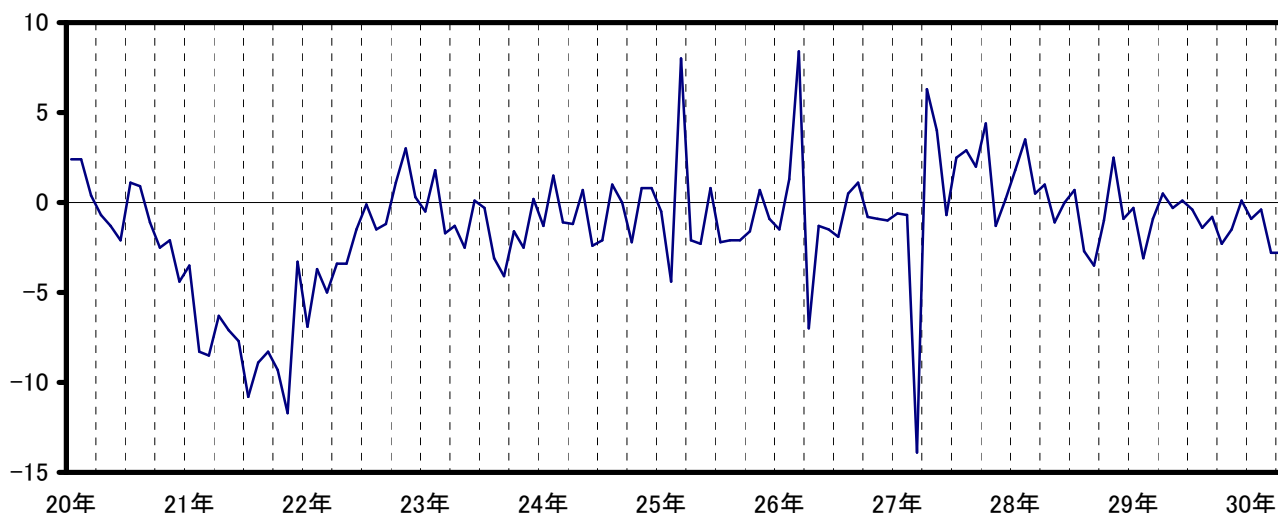
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

4 月 = 66,761百万円

*前年同月比： 3.0%増

(県内94家電大型専門店、1,731コンビニエンスストア、471ドラッグストア、103ホームセンター合計)

<概況>

4月の専門量販店等販売額は66,761百万円で、前年同月比 3.0%増となり、14か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、ホームセンター（前年同月比 0.2%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 2.3%増）が2か月ぶり、コンビニエンスストア（同 1.2%増）が2か月連続、ドラッグストア（同 7.4%増）が14か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
販売額（百万円）	63,700	64,401	64,592	76,204	64,875	58,880	68,567	66,761
前年同月比（%）	3.5	0.1	2.9	3.4	2.4	2.3	1.8	3.0
うち 家電大型専門店（%）	0.7	▲ 2.4	5.2	7.3	5.0	4.7	▲ 0.2	2.3
コンビニエンスストア（%）	1.4	▲ 0.6	0.3	0.5	0.5	▲ 0.1	1.1	1.2
ドラッグストア（%）	8.5	5.7	6.6	6.5	5.9	6.1	4.3	7.4
ホームセンター（%）	2.7	▲ 7.5	0.9	1.2	▲ 2.2	▲ 0.7	0.8	▲ 0.2
(参考) 全国前年同月比（%）	3.5	0.9	3.6	3.8	2.9	2.9	3.4	3.0

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

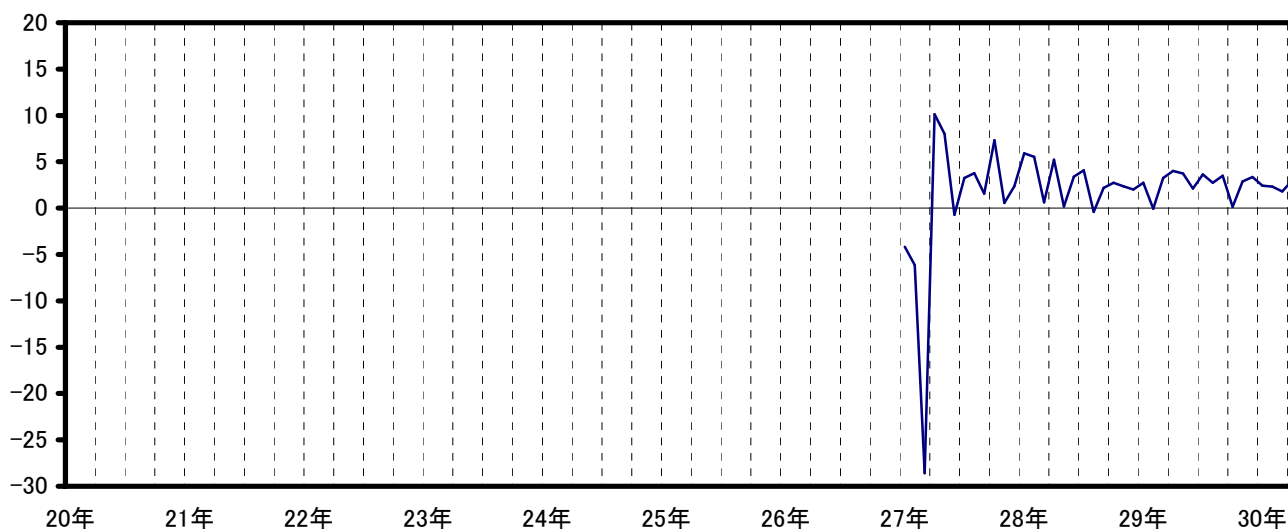
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

4月 = 11,883 台

*前年同月比： 1.0%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

4月の自動車(新車)新規登録台数は11,883台(前年同月比 1.0%増)となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 2.7%減)が7か月連続で前年実績を下回ったものの、軽自動車(同 5.6%増)が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
登録台数(台)	17,157	12,382	13,434	13,048	15,357	17,887	23,209	11,883
前年同月比(%)	5.0	▲ 1.0	▲ 1.5	▲ 3.7	3.0	▲ 0.1	▲ 4.9	1.0
(参考)全国前年同月比(%)	5.3	▲ 1.2	▲ 2.7	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 2.8	▲ 3.6	2.6

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

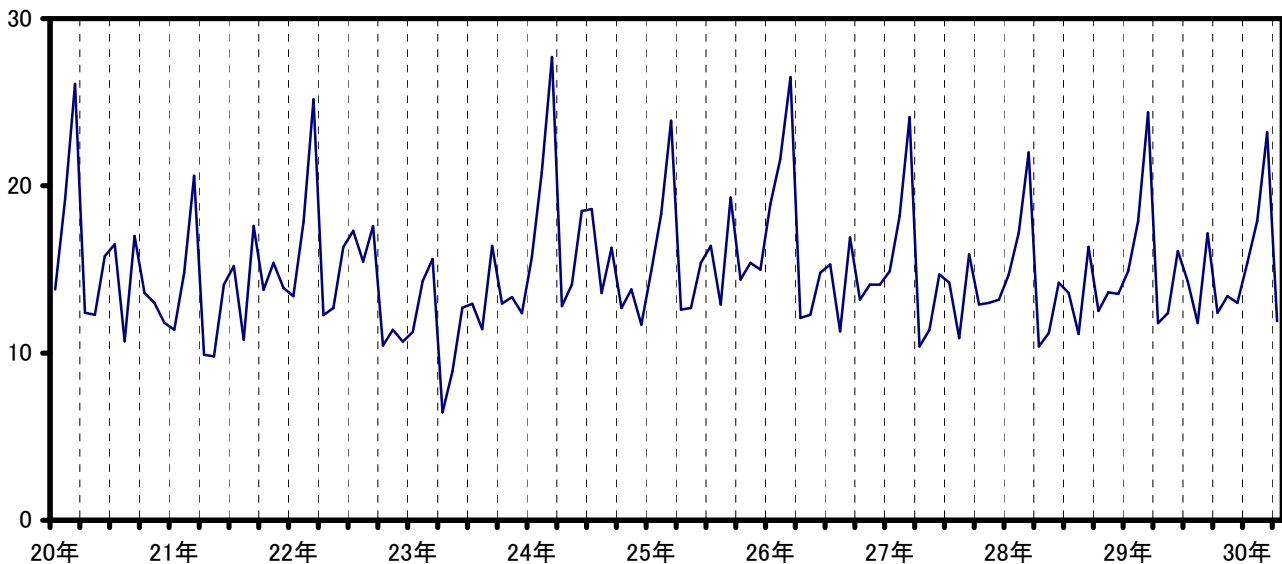
	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
全乗用車	5.0	▲ 1.0	▲ 1.5	▲ 3.7	3.0	▲ 0.1	▲ 4.9	1.0
乗用車	5.1	▲ 7.4	▲ 4.3	▲ 6.5	▲ 6.7	▲ 1.5	▲ 7.7	▲ 2.7
軽自動車	4.9	7.5	2.4	0.4	16.6	1.7	▲ 0.9	5.6

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

4月 = 2,015 戸

*前年同月比： 7.0%増

<概況>

4月の新設住宅着工戸数は2,015戸で、前年同月比 7.0%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 5.3%増）、貸家（同 8.6%増）がいずれも3か月ぶり、分譲住宅（同 11.1%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

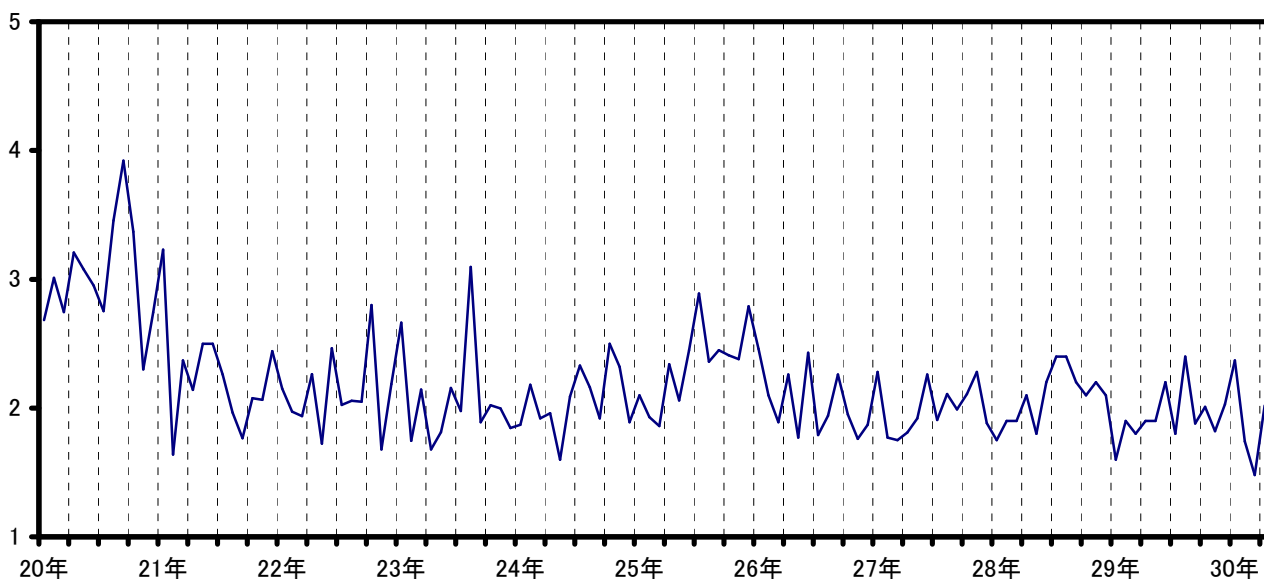
	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
戸数 (戸)	1,878	2,012	1,820	2,032	2,369	1,742	1,483	2,015
前年同月比 (%)	▲ 13.8	▲ 3.5	▲ 17.8	▲ 2.0	44.0	▲ 9.8	▲ 17.9	7.0
うち持家 (%)	▲ 7.7	▲ 5.3	▲ 12.0	▲ 0.9	21.2	▲ 24.3	▲ 3.4	5.3
貸家 (%)	▲ 31.3	7.9	▲ 35.4	▲ 0.4	34.5	▲ 7.9	▲ 22.9	8.6
分譲住宅 (%)	0.0	▲ 15.9	11.2	▲ 8.8	124.9	35.3	▲ 37.2	11.1
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 2.9	▲ 4.8	▲ 0.4	▲ 2.1	▲ 13.2	▲ 2.6	▲ 8.3	0.3

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

4月 = 61,467百万円

*前年同月比：11.6%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

4月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は61,467百万円で、前年同月比11.6%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は586件で、前年同月比18.4%増となり、5か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
金額(百万円)	45,692	21,188	13,967	13,064	9,580	8,327	16,358	61,467
前年同月比(%)	▲9.3	9.8	▲1.7	▲21.4	▲8.4	▲33.2	1.7	11.6
年度累計前年同月比(%)	2.4	3.0	2.7	1.1	0.7	▲0.8	▲0.7	11.6
件数(件)	1,371	729	667	694	369	185	195	586
前年同月比(%)	▲5.1	11.0	1.5	▲10.1	▲15.0	▲42.4	▲17.0	18.4
年度累計前年同月比(%)	▲1.3	0.2	0.4	▲0.8	▲1.7	▲3.4	▲3.8	18.4

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

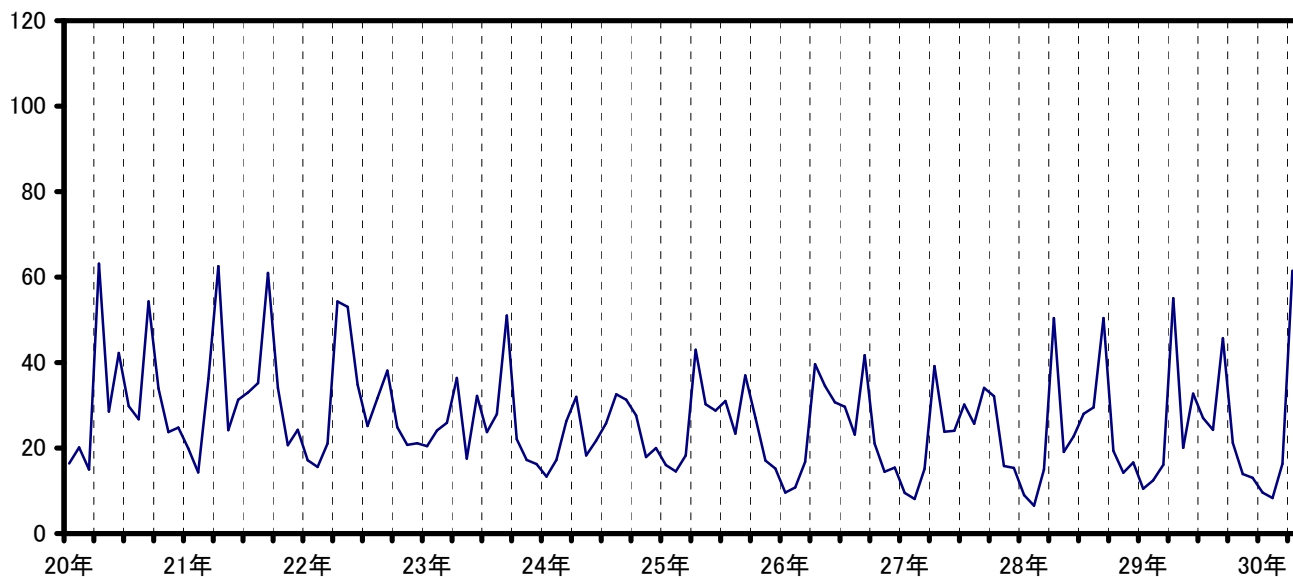
	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
国	3.6	107.7	108.8	▲99.1	▲63.5	▲35.2	▲44.9	9.2
独立行政法人等	▲49.2	▲33.9	▲59.0	113.4	77.7	758.0	1,746.6	▲8.5
県	3.3	▲35.0	▲24.9	▲6.3	67.2	▲73.7	▲23.0	▲2.0
市町	▲18.9	28.9	11.3	▲21.2	▲27.7	▲29.6	54.2	70.0
地方公社	586.3	▲90.9	21.0	▲80.9	—	—	—	204.5
その他	153.8	316.9	▲45.7	▲81.8	▲63.2	389.1	▲96.0	▲5.1

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成29年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業、非製造業、全産業のいずれも増加の計画となっている。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業のいずれも増加の計画となっている。

平成30年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 4.4%増）で増加、非製造業（同 3.4%減）で減少し、全産業（同 0.9%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 4.0%増）で増加、非製造業（同 1.2%減）で減少し、全産業（同 2.8%増）で増加する計画となっている。

4月の着工建築物床面積（非居住用）は162,014㎡で、前年同月比 8.1%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		29年度 (計画)	30年度 (計画)
全産業	県	(▲2.1) 10.4	0.9
	全国	(▲0.4) 4.0	▲ 0.7
製造業	県	(▲4.5) 16.4	4.4
	全国	(▲3.2) 6.5	6.0
非製造業	県	(1.1) 3.5	▲ 3.4
	全国	(1.3) 2.7	▲ 4.5

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		29年度 (計画)	30年度 (計画)
全産業	県	(▲1.3) 11.3	2.8
	全国	(▲1.4) 4.2	2.0
製造業	県	(▲1.7) 14.3	4.0
	全国	(▲2.7) 4.1	4.6
非製造業	県	(▲0.1) 2.9	▲ 1.2
	全国	(0.1) 4.4	▲ 0.7

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成30年3月調査)」

<最近の動き>

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	82,379	117,588	96,613	109,021	86,688	123,341	63,422	162,014
前年同月比（%）	▲ 51.9	50.8	▲ 32.1	1.0	▲ 43.9	49.6	▲ 28.9	8.1
(参考) 全国前年同月比（%）	6.9	16.2	6.3	▲ 10.8	▲ 6.8	0.4	17.5	0.5

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	29年12月	30年3月	30年6月 (予測)
全産業	19	17	7
製造業	23	18	9
非製造業	16	18	6
(参考) 全国・全産業	16	17	12

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年3月調査)」

5 輸出

4 月 = 188,363百万円

* 前年同月比： 1.8%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

4月の清水税関支署管内の輸出総額は188,363百万円で、前年同月比 1.8%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 21.2%増）が2か月連続、自動車（同 14.7%増）が4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、原動機（同 1.7%減）が2か月連続、自動車の部分品（同 9.0%減）が12か月連続、二輪自動車類（同 18.6%減）、科学光学機器（同 1.6%減）がいずれも3か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 0.1%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、米国向け（同 9.0%減）が5か月連続、EU向け（同 2.4%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
輸出総額(百万円)	176,036	185,489	178,887	199,181	157,324	174,327	187,025	188,363
前年同月比(%)	7.1	17.7	9.5	5.4	5.5	▲4.7	▲5.1	▲1.8

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
原動機	9.5	7.2	▲2.6	3.2	10.8	13.8	▲6.9	▲1.7
エアコン	28.7	32.0	▲0.5	▲2.3	▲23.7	▲21.4	18.4	21.2
自動車	1.6	148.3	138.9	16.4	▲1.0	▲2.1	▲54.4	14.7
自動車の部分品	▲17.4	▲11.2	▲15.8	▲18.2	▲14.2	▲14.5	▲6.2	▲9.0
二輪自動車類	32.7	24.0	10.2	10.6	6.9	▲22.9	▲21.8	▲18.6
科学光学機器	45.3	38.2	30.7	51.8	20.1	▲9.0	▲2.4	▲1.6

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
アジア	7.4	18.9	7.3	6.4	10.6	▲8.2	1.2	0.1
米国	5.3	▲11.2	0.2	▲7.0	▲1.9	▲0.1	▲2.4	▲9.0
EU	8.7	54.9	23.4	20.9	4.3	▲9.7	▲20.1	▲2.4

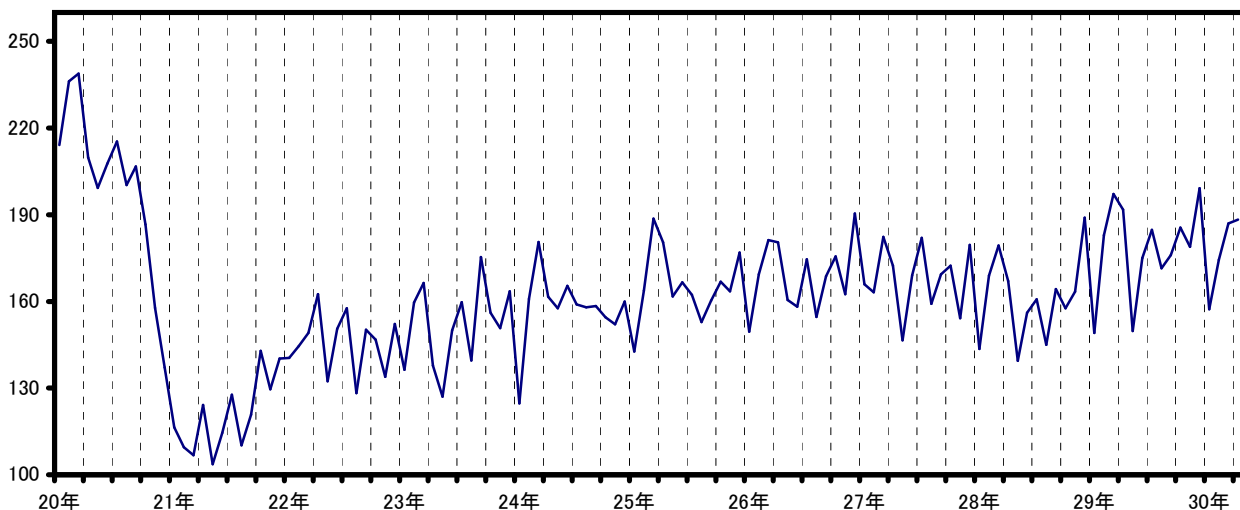
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

4 月 = 93,685百万円

*前年同月比： 18.9%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

4月の清水税関支署管内の輸入総額は93,685百万円で、前年同月比 18.9%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 2.6%減）が2か月連続、原動機（同 27.6%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品（同 34.0%増）が3か月ぶり、木材（同 10.7%増）が4か月連続、パルプ（同 24.7%増）が6か月連続、自動車の部分品（同 10.0%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別では、米国から（前年同月比 5.7%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、アジアから（同 11.2%増）が2か月ぶり、EUから（同 20.0%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
輸入総額(百万円)	83,678	73,321	89,593	89,185	89,767	85,331	78,824	93,685
前年同月比(%)	13.8	3.8	9.6	15.5	6.3	18.6	▲13.0	18.9

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
魚介類及び同調製品	—	—	—	—	26.2	▲6.2	▲13.1	34.0
木材	34.2	30.1	64.8	▲3.3	3.8	7.9	5.5	10.7
パルプ	50.8	▲4.9	75.7	46.4	18.2	43.2	23.2	24.7
紙類及び同製品	▲9.8	4.3	33.1	▲24.2	2.5	4.2	▲4.1	▲2.6
原動機	▲9.6	▲8.6	▲29.1	1.6	▲40.2	▲67.3	▲21.4	▲27.6
自動車の部分品	▲0.4	15.8	▲4.6	▲26.9	1.0	27.1	▲20.7	10.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

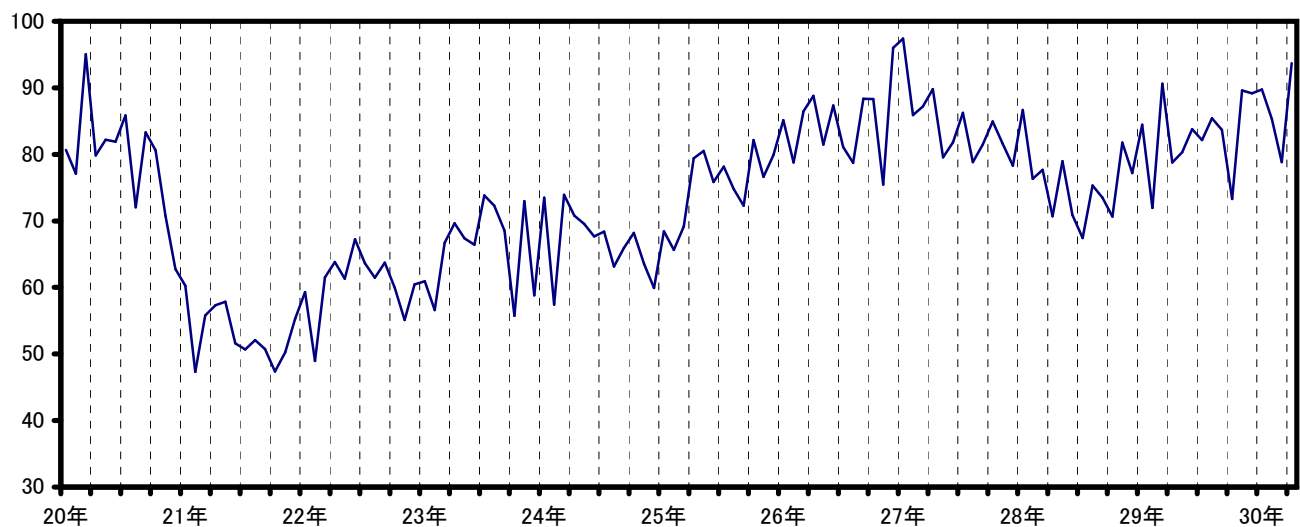
	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
アジア	22.2	1.2	12.0	11.7	0.9	21.8	▲11.8	11.2
米国	21.4	▲1.0	9.1	▲2.6	13.1	▲15.7	▲3.9	▲5.7
EU	21.5	24.5	5.9	22.3	42.3	▲23.6	4.9	20.0

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

3月 = 96.0

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.3%増

*前年同月比(原指数) : 2.1%減

<概況>

3月の鉱工業生産指数(総合)は96.0(季節調整済指数)で、前月比2.3%増となり、2か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は2.1%減と3か月連続で前年水準を下回った。
業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比7.4%増)が5か月ぶり、電気機械(同3.8%増)が2か月連続、化学(同2.7%増)、パルプ・紙・紙加工品(同0.8%増)がいずれも2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、輸送機械(同10.3%減)が3か月連続、食料品・たばこ(同2.2%減)が2か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
指数	94.1	93.2	96.3	92.6	95.7	90.9	93.8	96.0
前月比(%)	3.1	▲1.0	3.3	▲3.8	3.3	▲5.0	3.2	2.3
前年同月比(%)	4.0	2.3	9.6	2.8	3.2	▲1.1	▲2.0	▲2.1
(参考)全国前年同月比(%)	5.4	2.5	5.9	3.7	4.2	2.7	1.4	2.2

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲6.8	▲4.7	19.5	▲1.6	▲1.8	▲9.3	▲4.8	7.4
電気機械工業	9.3	3.9	5.5	▲3.9	▲1.4	▲3.2	1.6	3.8
輸送機械工業	10.0	11.4	20.2	10.6	6.1	▲1.6	▲8.2	▲10.3
化学工業	2.3	1.3	10.0	6.4	8.0	0.8	▲0.7	2.7
パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.4	▲1.9	▲1.5	1.5	1.8	2.2	▲2.7	0.8
食料品・たばこ工業	0.9	▲6.3	▲3.4	▲8.4	0.4	▲2.1	7.2	▲2.2

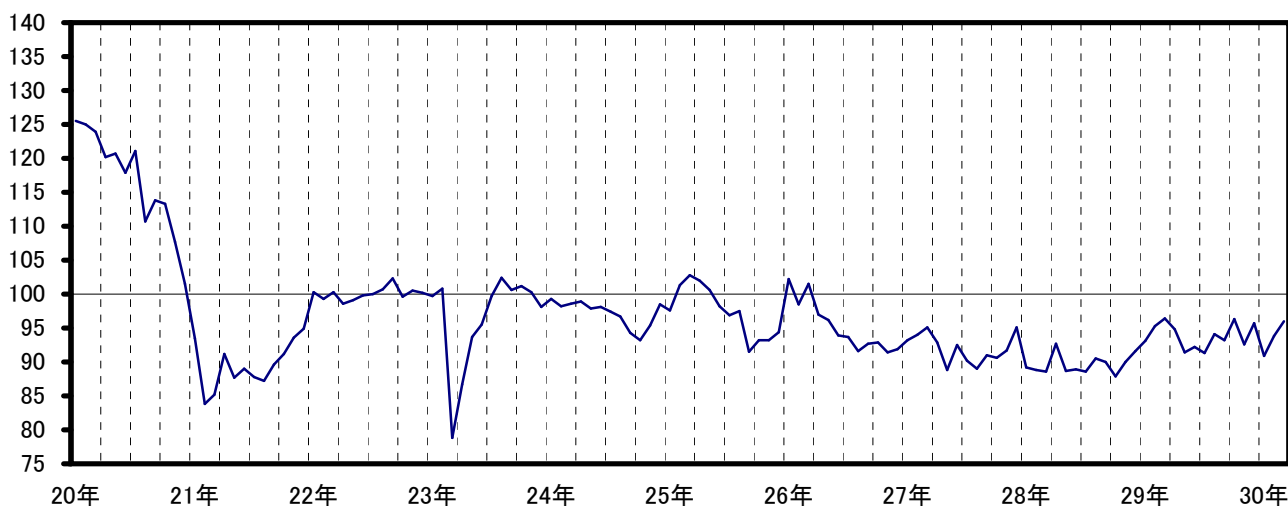
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

3月 = 127.8

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.1%増

*前年同月比(原指数) : 8.1%増

<概況>

3月の鋳工業在庫指数(総合)は127.8(季節調整済指数)で、前月比は2.1%増と4か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は8.1%増と6か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。

業種別にみると、電気機械(前年同月比3.2%減)が8か月ぶり、輸送機械(同7.8%減)が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同8.6%減)が9か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同5.4%増)が3か月連続、化学(同50.8%増)が10か月連続、食料品・たばこ(同2.8%増)が4か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
指数	113.3	111.2	116.6	114.5	115.5	117.9	125.2	127.8
前月比(%)	▲0.1	▲1.9	4.9	▲1.8	0.9	2.1	6.2	2.1
前年同月比(%)	▲1.0	▲0.8	5.3	4.9	8.9	4.8	4.9	8.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.0	▲2.4	1.9	2.8	2.0	1.4	1.6	4.1

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
はん用・生産用・業務用機械工業	0.2	4.7	3.9	▲8.9	▲0.2	3.0	6.7	5.4
電気機械工業	0.5	6.3	16.7	19.7	22.1	10.6	7.9	▲3.2
輸送機械工業	▲26.1	▲14.9	6.0	20.3	36.6	9.2	▲5.7	▲7.8
化学工業	12.4	7.3	23.9	25.4	24.3	26.9	27.6	50.8
パルプ・紙・紙加工品工業	▲6.0	▲6.4	▲9.7	▲6.9	▲4.1	▲6.1	▲10.3	▲8.6
食料品・たばこ工業	7.7	4.6	12.9	▲4.0	7.7	10.1	11.8	2.8

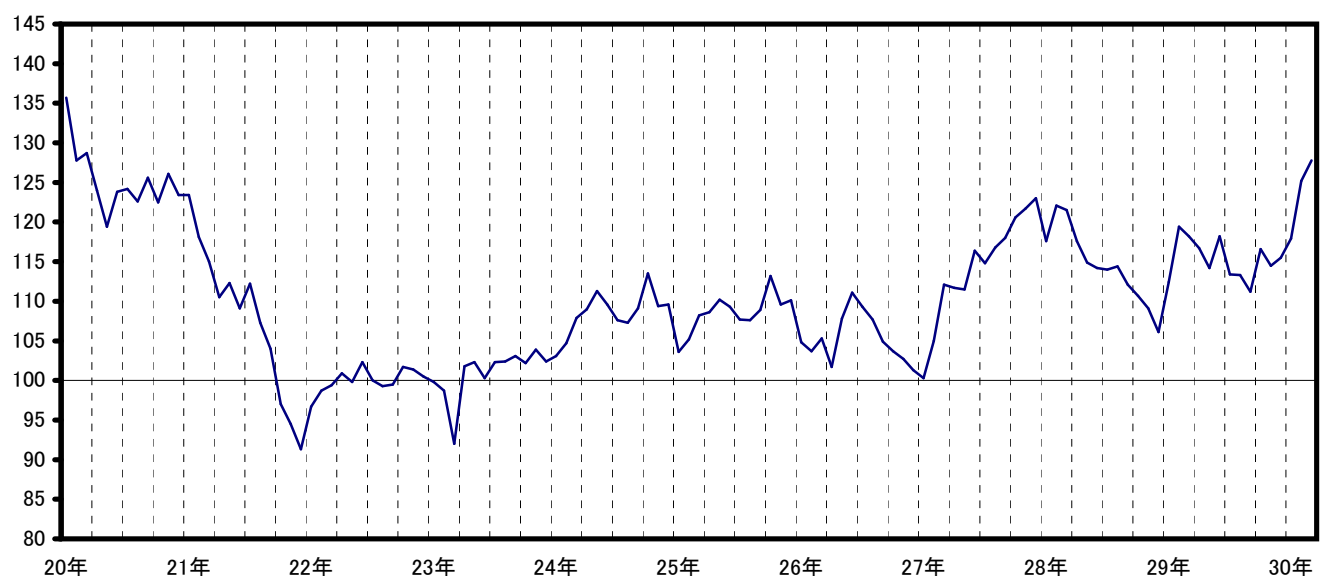
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

4 月 = 1.68倍

*前月比 (季節調整値) : 0.02ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

4月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.68倍となり、前月を0.02ポイント上回った。また、14か月連続で全国値を上回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比2.1%増)は27か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、サービス業(他に分類されないもの)(前年同月比5.9%減)が2か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業(同0.1%増)、卸売業・小売業(同0.7%増)がいずれも2か月連続、製造業(同21.3%増)が30か月連続、情報通信業(同11.2%増)が3か月ぶり、運輸業・郵便業(同4.3%増)が18か月連続、医療・福祉(同3.1%増)が20か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
県	1.57	1.59	1.60	1.61	1.61	1.65	1.66	1.68
全 国	1.53	1.55	1.56	1.59	1.59	1.58	1.59	1.59

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
建 設 業	5.9	13.3	10.5	7.8	8.7	▲ 1.8	8.5	0.1
製 造 業	7.2	13.3	14.9	22.1	12.3	10.7	16.5	21.3
情 報 通 信 業	9.2	16.2	▲ 17.6	16.7	17.6	▲ 19.3	▲ 13.2	11.2
運 輸 業 ・ 郵 便 業	20.9	9.6	7.0	17.6	3.6	13.8	11.5	4.3
卸 売 業 ・ 小 売 業	7.6	1.4	▲ 1.9	▲ 0.3	▲ 1.7	▲ 5.2	3.2	0.7
医 療 ・ 福 祉	22.5	2.4	11.3	15.1	5.2	8.7	5.1	3.1
サービス業(他に分類されないもの)	29.2	20.6	▲ 5.8	13.6	2.3	13.5	▲ 1.5	▲ 5.9
合 計	15.7	9.7	5.9	14.0	5.5	6.8	7.7	2.1

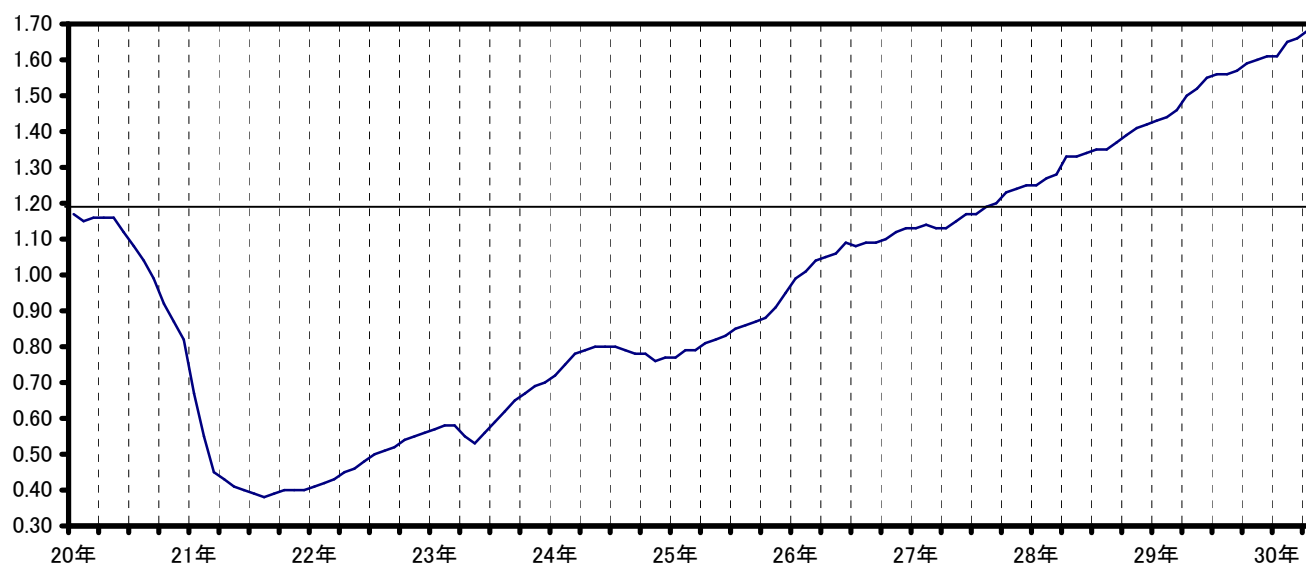
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

4 月 = 9,236人

*前 月 比: 2.4%減

*前年同月比: 3.1%減

<概 況>

4月の雇用保険受給者実人員は9,236人で、前月比は2.4%減と8か月連続で前月を下回った。
 また、前年同月比は3.1%減と57か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は2.5%で、前月と同水準だった。
 静岡県(平成30年1~3月)の完全失業率は2.0%で、前期(29年10~12月)から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
実 人 員 (人)	11,236	11,111	10,848	10,275	10,153	9,629	9,460	9,236
前 月 比 (%)	▲ 5.1	▲ 1.1	▲ 2.4	▲ 5.3	▲ 1.2	▲ 5.2	▲ 1.8	▲ 2.4
前 年 同 月 比 (%)	▲ 11.5	▲ 8.7	▲ 6.4	▲ 5.9	▲ 5.3	▲ 5.3	▲ 5.7	▲ 3.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 6.9	▲ 2.6	▲ 3.3	▲ 4.7	▲ 4.1	▲ 5.4	▲ 6.5	▲ 3.5

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
完全失業率(全国)(%)	2.8	2.8	2.7	2.7	2.4	2.5	2.5	2.5

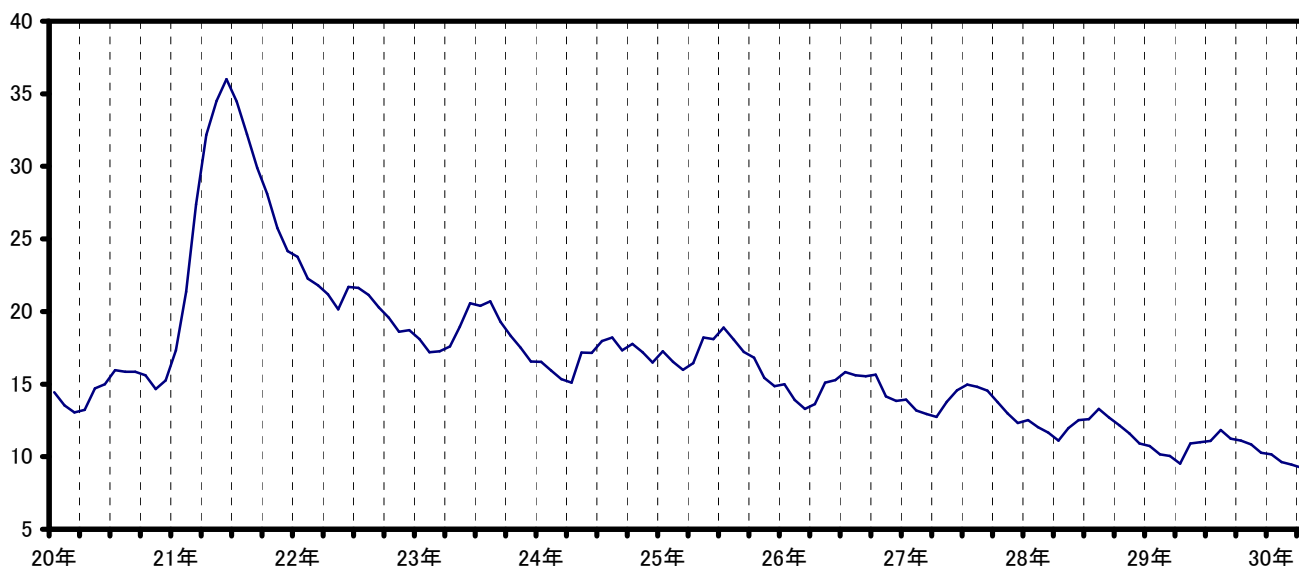
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

3月 = 91.6

*前月比(季節調整済指数): 2.8%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 10.2%減

<概況>

3月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は91.6(季節調整済指数)で、前月比2.8%減となった。また、前年同月比(原指数)は10.2%減と4か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比65.9%増)が5か月連続、卸売業・小売業(同19.0%増)が10か月連続、その他のサービス業(同29.1%増)が3か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同51.0%減)が6か月連続、製造業(同11.4%減)が4か月連続、運輸業・郵便業(同3.5%減)が2か月ぶり、医療・福祉(同5.3%減)が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
指数	100.2	106.4	105.0	106.8	98.9	91.3	94.2	91.6
前月比(%)	▲2.9	6.2	▲1.3	1.7	▲7.4	▲7.7	3.2	▲2.8
前年同月比(%)	2.4	4.9	2.0	6.1	▲1.3	▲9.6	▲8.8	▲10.2
(参考)全国前年同月比(%)	0.8	▲0.1	▲0.2	▲0.1	0.6	▲2.4	▲2.3	▲1.6

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
建設業	▲1.5	13.9	▲26.9	▲10.8	▲1.6	▲16.2	▲48.4	▲51.0
製造業	0.8	6.2	1.3	9.5	▲1.2	▲8.9	▲8.3	▲11.4
情報通信業	▲4.7	19.8	▲3.2	2.3	6.6	48.2	69.8	65.9
運輸業・郵便業	▲3.7	▲0.6	▲5.1	▲13.2	▲11.4	▲7.6	2.9	▲3.5
卸売業・小売業	9.8	24.0	46.9	14.8	11.5	19.0	28.0	19.0
医療・福祉	6.1	▲1.7	▲12.9	9.2	11.5	8.4	▲1.5	▲5.3
その他のサービス業	14.4	13.1	38.8	26.0	▲4.7	60.6	46.0	29.1
調査産業計	2.4	4.9	2.0	6.1	▲1.3	▲9.6	▲8.8	▲10.2

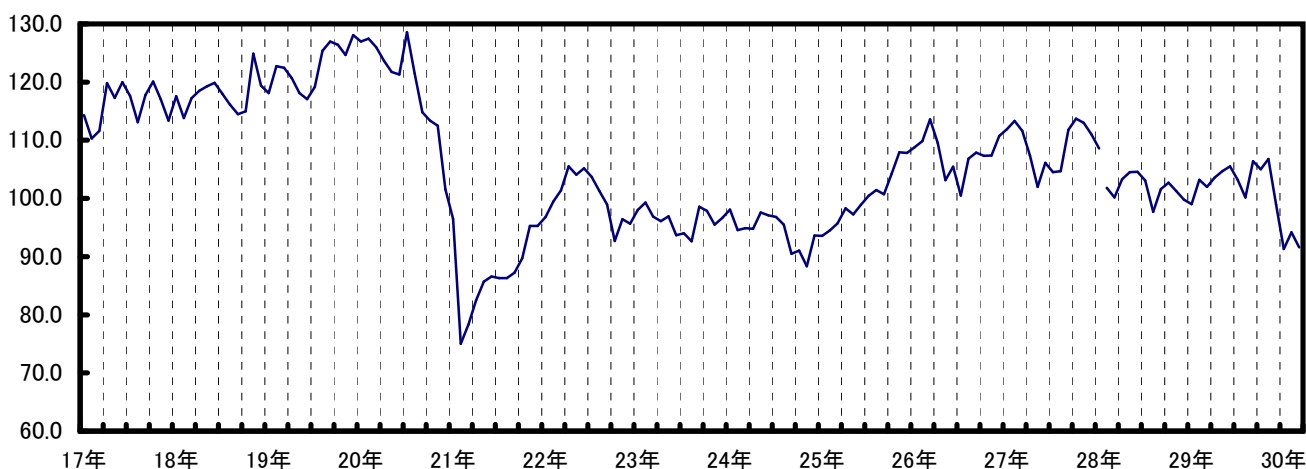
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

5 月 = 101.1

(平成27年=100)

*前 月 比: 0.6%上昇

*前年同月比: 2.7%上昇

<概 況>

5月の国内企業物価指数は101.1となり、前月比は0.6%の上昇となった。また、前年同月比は2.7%の上昇となった。

<最近の動き>

	29年10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月
国内企業物価指数	99.4	99.8	100.0	100.3	100.4	100.3	100.5	101.1
前 月 比 (%)	0.4	0.4	0.2	0.3	0.1	▲ 0.1	0.2	0.6
前年同月比 (%)	3.5	3.5	3.0	2.7	2.6	2.1	2.1	2.7

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

4 月 = 139,122億円

(銀行、信用金庫)

*前 月 比: 1.1%減

*前年同月比: 0.4%増

<概 況>

4月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は139,122億円で、前月比は1.1%の減少となり、前年同月比は0.4%の増加となった。

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
貸出残高(億円)	141,064	139,254	139,604	141,576	139,613	139,486	140,606	139,122
前 月 比 (%)	1.3	▲ 1.3	0.3	1.4	▲ 1.4	▲ 0.1	0.8	▲ 1.1
前年同月比 (%)	2.4	2.0	1.7	1.8	1.3	1.2	0.6	0.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

4 月 = 2.070%

(県内地銀4行総平均)

*前 月 差: 0.002ポイント減

*前年同月差: 0.063ポイント減

<概 況>

4月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.070%で、前月から0.002ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.063ポイントのマイナスとなった。

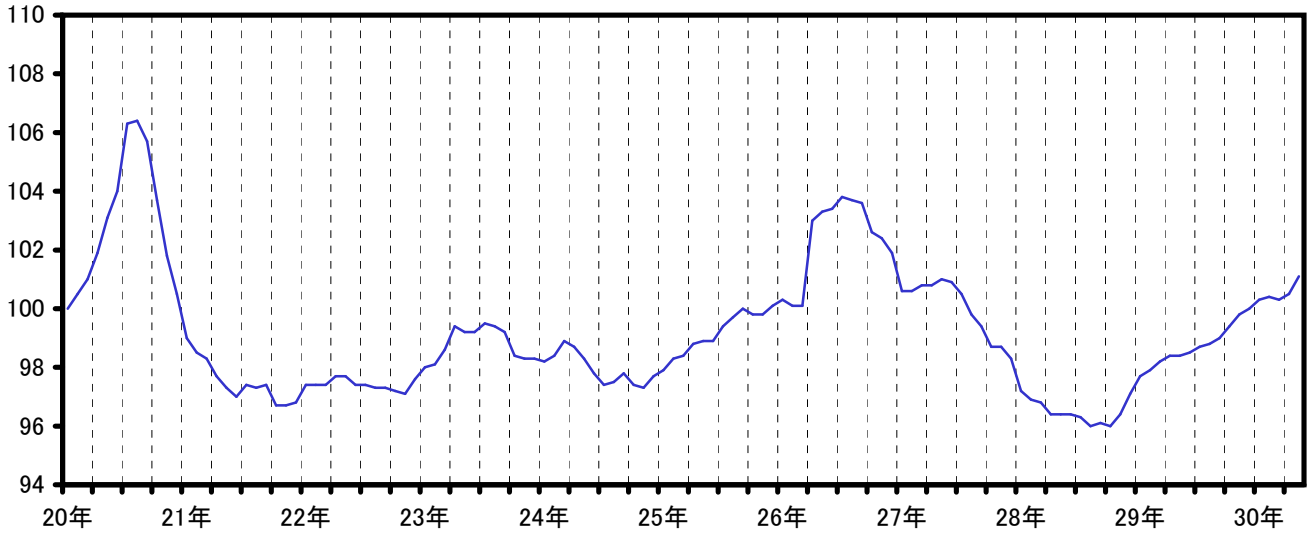
	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
貸出約定金利 (%)	2.111	2.123	2.117	2.098	2.106	2.100	2.072	2.070
前月差(ポイント)	▲ 0.011	0.012	▲ 0.006	▲ 0.019	0.008	▲ 0.006	▲ 0.028	▲ 0.002
前年同月差(ポイント)	▲ 0.033	▲ 0.029	▲ 0.029	▲ 0.026	▲ 0.028	▲ 0.038	▲ 0.056	▲ 0.063

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

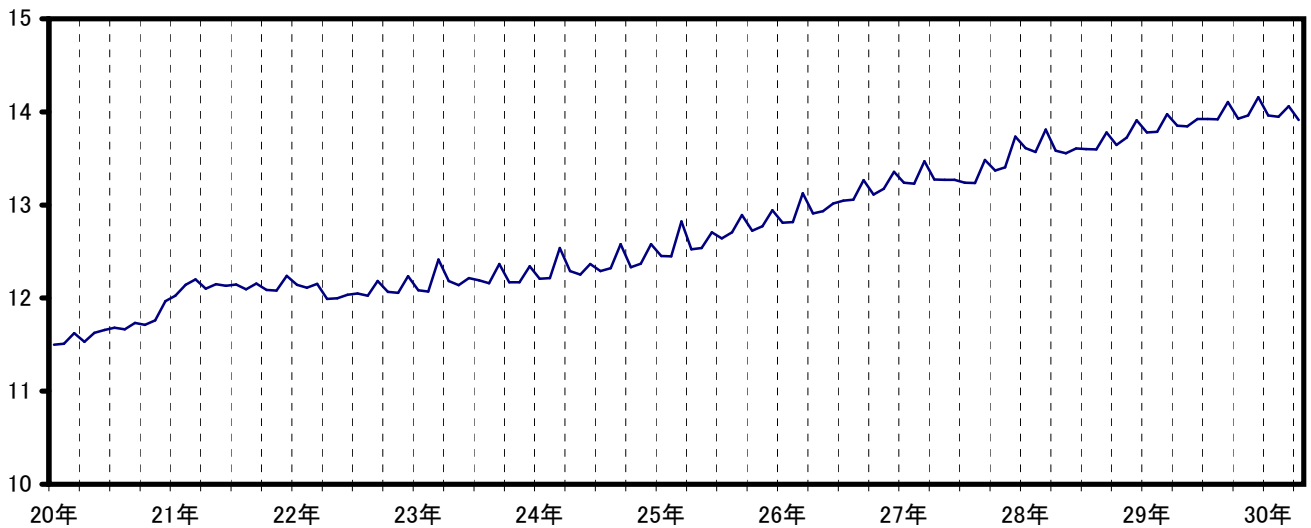
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



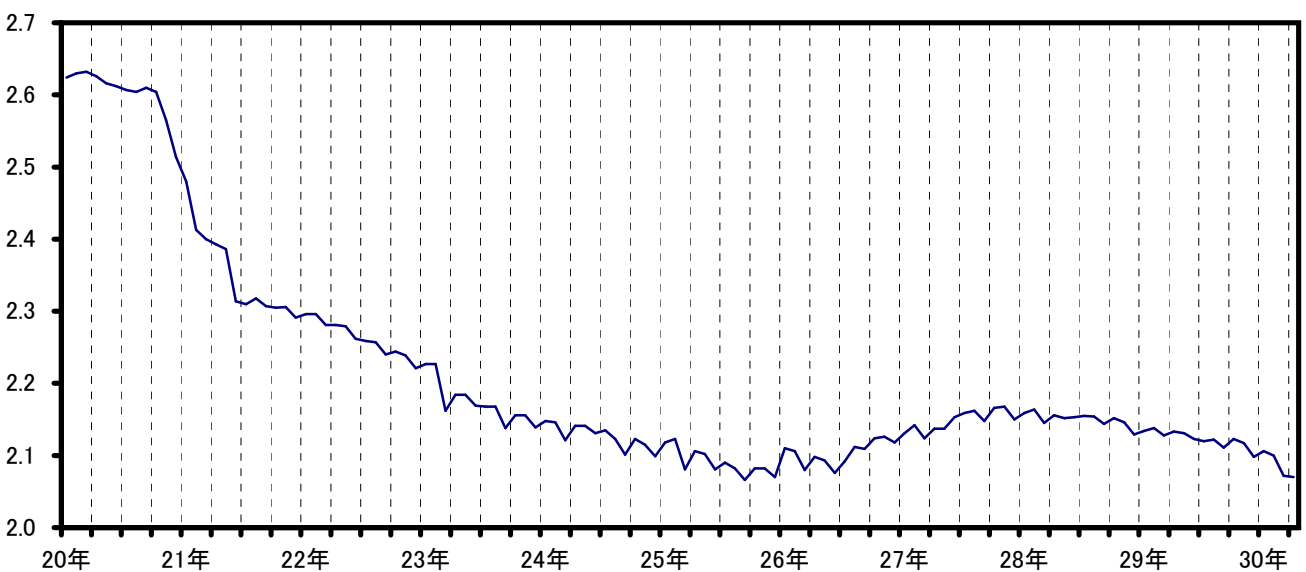
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**4月 = 12,080百万円**

*前年同月比： 3.3%増

<概況>

4月の保証承諾は、金額は12,080百万円（前年同月比 3.3%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回り、件数は1,421件（同 3.0%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
保証金額（百万円）	19,319	15,886	20,201	23,366	13,633	17,320	24,143	12,080
前年同月比（%）	▲ 17.1	▲ 6.8	4.7	▲ 4.0	▲ 3.0	▲ 4.7	▲ 7.3	3.3
保証件数（件）	2,009	1,635	1,930	2,317	1,486	1,824	2,314	1,421
前年同月比（%）	▲ 13.4	▲ 8.2	2.2	▲ 1.9	▲ 1.2	0.3	▲ 4.1	3.0

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**5月 = 109.69円/ドル**

*前月差： 2.26円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 2.52円高

<概況>

5月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は109.69円で、前月と比べて2.26円の円安となり、2か月連続の円安となった。

<最近の動き>

	29年10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月
平均相場（円）	112.96	112.92	112.97	110.77	107.82	106.00	107.43	109.69
前月差（円）	2.28	▲ 0.04	0.05	▲ 2.20	▲ 2.95	▲ 1.82	1.43	2.26
前年同月差（円）	9.14	4.74	▲ 2.98	▲ 3.96	▲ 5.24	▲ 7.01	▲ 2.63	▲ 2.52

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****5月 = 24件**

*前年同月比： 33.3%増

<概況>

5月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は24件（前年同月比 33.3%増）、負債総額は3,066百万円（同 31.1%増）と、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が23件と全体の95.8%を占め、246か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

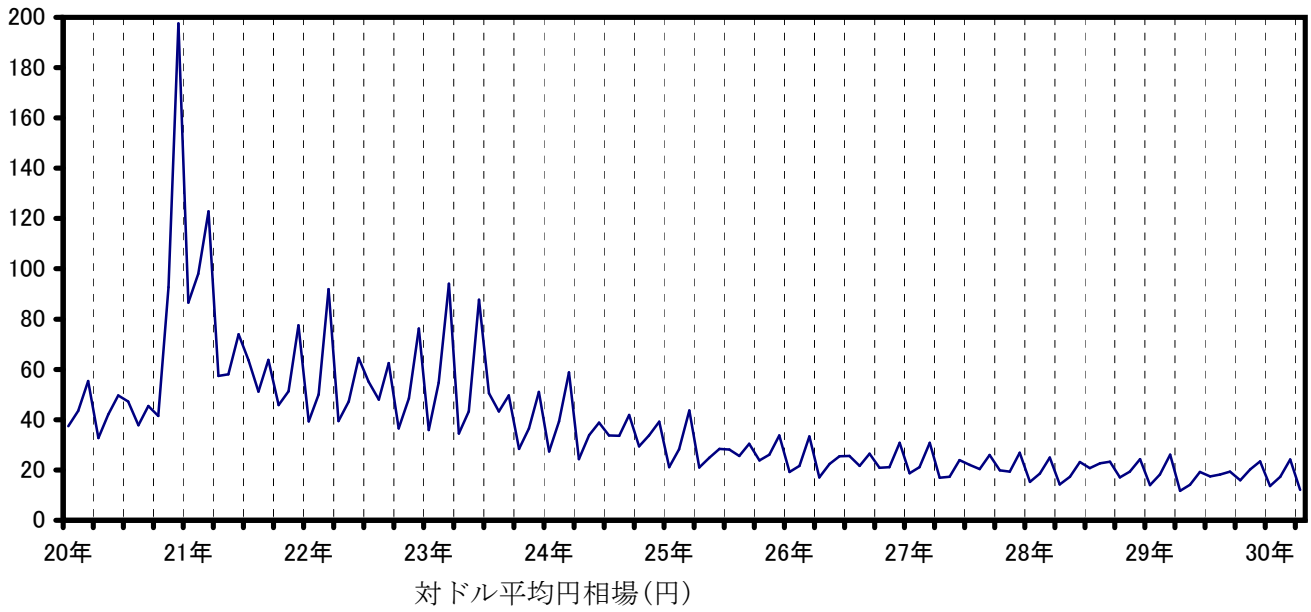
	29年10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月
倒産件数（件）	23	21	15	18	22	26	12	24
前年同月比（%）	76.9	10.5	▲ 57.1	12.5	22.2	▲ 16.1	▲ 47.8	33.3
うち不況型倒産件数（件）	20	21	13	17	20	25	10	23
負債総額（百万円）	3,542	8,404	1,255	2,369	2,688	3,065	2,113	3,066
前年同月比（%）	117.1	310.1	▲ 77.9	40.4	▲ 65.4	▲ 57.7	▲ 68.0	31.1

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

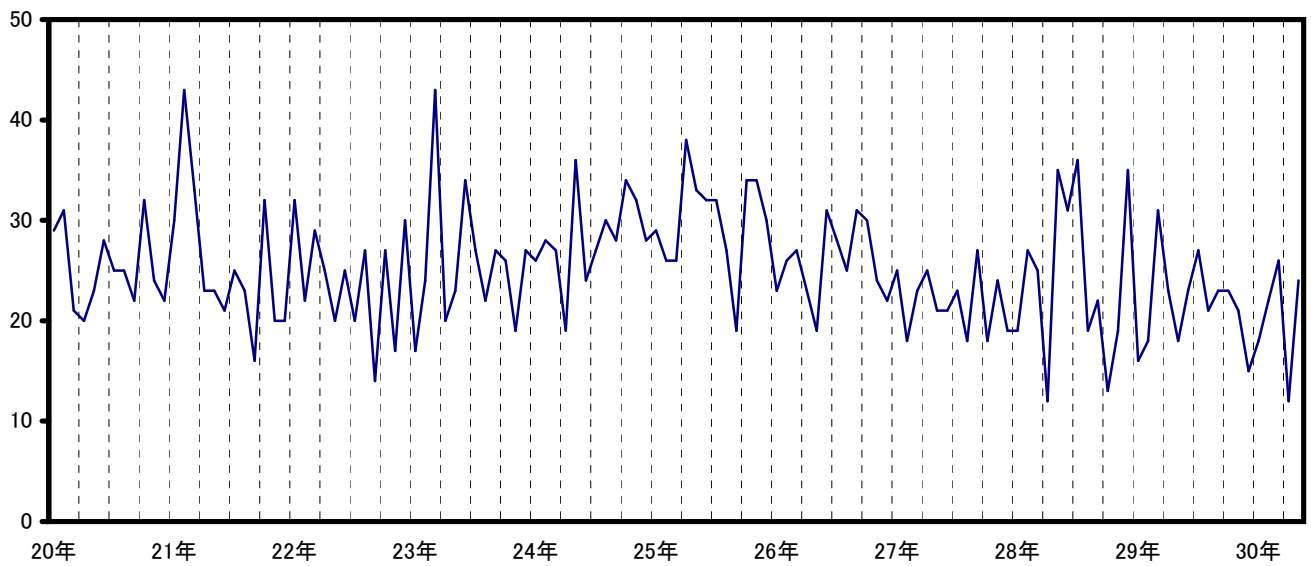
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成30年4月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>3月の国内二輪車生産台数は、60,782台（前年同月比 15.7%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、13,408台（同 7.5%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,467台（同 59.5%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,178台（同 43.5%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、40,729台（同 18.3%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、37,939台（同 7.9%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、49,626台（同 4.8%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>3月の自動車国内生産台数は、939,120台（前年同月比 1.0%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。なお、輸出は441,675台（同 5.3%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラック、乗用車がいずれも2か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>4月の冷蔵庫の国内出荷額は275億円（前年同月比 9.3%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数は274千台（同 6.9%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>4月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは534千台（同 10.9%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。業務用は61千台（同 9.7%増）と、13か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>3月の携帯電話の国内出荷台数は、1,469千台（同 19.6%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、1,009千台（同 20.5%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は68.7%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>4月の工作機械の受注総額は、1,630億6,300万円（前年同月比 22.0%増）と、17か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は945億5,300万円（同 13.6%増）と、17か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが461億1,600万円（同 0.2%減）と、17か月ぶりに前年実績を下回った。内需は685億1,000万円（同 35.8%増）と、15か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「歯車関係では、国内外とも受注増の傾向は続いている」という声や「半導体関連、リチウム電池、液晶等は堅調だが、現在の世界情勢によっては大きく変わる可能性を秘めており非常に心配」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>4月の県内楽器メーカーの販売金額は、54億2,893万円（前年同月比 13.6%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが23億9,058万円（同 26.0%減）、国内向けが30億3,835万円（同 0.4%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,839台（同 4.9%減）だった。機種別では、アップライトピアノが1,877台（同 8.8%減）、グランドピアノが962台（同 3.8%増）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,034台（同 2.7%増）、国内向けが1,218台（同 3.2%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>4月の紙・板紙の国内出荷高は、2,052千トン（前年同月比 2.5%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,071千トン（同 5.2%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。板紙は981千トン（同 0.6%増）と、18か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、588千トン（同 6.1%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、151千トン（同 3.6%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>4月の県内生産量は、食缶類が国内向け946千箱（前年同月比 2.0%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は639千箱（同 5.8%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は470千箱（同 8.8%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は307千箱（同 7.1%増）と、10か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,871千箱（同 15.7%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>4月の広幅織物の県内生産は、1,274千㎡（前年同月比 4.8%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,213千㎡（同 6.4%減）と、18か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、61千㎡（同 45.5%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、31千㎡（同 6.7%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>4月の全国百貨店での家具販売額は、47億1,224万円（前年同月比 4.7%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、683億6,085万円（同 2.7%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>4月の県内百貨店・スーパーの販売額は、32,240百万円（既存店前年同月比2.8%減）と、前年実績を下回った。品目別に見ると、「衣料品」、「身の回り品」、「飲食料品」、「家庭用品」、「その他の商品」、「食堂・喫茶」と全ての項目で販売額が前年実績を下回る結果となった。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りでは、ドラッグストアが生鮮品の取り扱いを始めるなど、競合店の増加等を背景に売上げが減少した。特に、鮮魚については、不漁の影響で相場が高騰しており、売行きが悪かった。</p> <p>東部の専門店への聞き取りでは、気温が上昇したこともあり、家電の売上げが増加した。また、中部の百貨店への聞き取りでは、全体の売上げが減少した一方で、服飾雑貨の売上げは好調であり、客単価が上昇していた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>4月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約52万人と、前年同月比 1.5%増だった。</p> <p>ゴールデンウィーク中に開催したイベントが好調であった施設がある一方、桜の開花が早く、遅咲きであった昨年度と比較して、4月の来場者が減少した施設もあった。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は約70万台と、前年同月に比べて0.1%減だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

（注）二輪車、自動車（資料：日本自動車工業会）については、速報値の公表（2か月後）が終了し、確報値（3か月後）のみの公表となったため、3月の実績を再掲している。

= IVデータからみた県内主要産業 =

<二輪車>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
完成車生産台数(台)	16,110	14,890	16,922	16,792	13,704	13,173	20,900	19,397	16,231
前年同月比(%)	20.0	7.8	▲ 15.8	▲ 30.8	▲ 30.9	▲ 31.3	▲ 5.3	▲ 30.2	▲ 25.2
KD輸出額(百万円)	575	496	603	606	531	539	650	515	752
前年同月比(%)	▲ 24.6	▲ 26.2	4.4	▲ 15.7	▲ 25.8	▲ 24.3	▲ 7.8	▲ 20.9	10.6

<楽 器>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
生産総額(百万円)	2,933	3,078	3,305	3,334	3,298	2,534	2,905	3,072	3,111
前年同月比(%)	▲ 11.4	▲ 20.1	▲ 10.6	▲ 8.3	0.1	▲ 17.8	▲ 13.8	▲ 17.5	▲ 8.6

<缶詰>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
食缶生産高(千ケース)	976	965	967	992	894	806	878	1,007	946
前年同月比(%)	▲ 0.1	▲ 9.3	▲ 5.0	2.3	9.6	▲ 2.4	1.4	1.1	▲ 2.0
うち水産缶詰(%)	▲ 13.0	▲ 14.3	▲ 8.6	▲ 0.8	7.7	▲ 4.2	▲ 0.5	▲ 5.2	▲ 5.8
農畜産缶詰(%)	42.4	6.2	5.2	10.9	14.3	2.0	5.5	15.7	7.1
飲料缶生産高(千ケース)	7,648	6,297	5,945	6,345	5,513	4,694	5,196	6,952	6,871
前年同月比(%)	3.0	▲ 11.9	▲ 9.4	▲ 4.5	▲ 7.9	▲ 4.9	▲ 9.8	▲ 4.2	▲ 15.7

<織 維>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
広幅織物(千㎡)	1,110	1,411	1,493	1,679	1,589	1,515	1,333	1,332	1,274
前年同月比(%)	▲ 2.2	▲ 3.3	▲ 1.9	▲ 0.8	▲ 6.2	▲ 3.1	▲ 3.3	0.8	▲ 4.8
小幅織物(千㎡)	25	31	32	32	33	32	35	34	31
前年同月比(%)	▲ 6.0	3.5	2.5	▲ 0.6	▲ 1.1	▲ 3.8	▲ 0.5	1.4	▲ 6.7

<観 光>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
観光施設(10施設)入込 (千人)	563	391	331	374	251	287	263	512	515
前年同月比(%)	2.0	6.2	▲ 23.3	7.2	▲ 10.2	▲ 0.2	▲ 1.7	5.9	1.5
有料道路(5路線)通行量 (千台)	883	704	670	735	725	639	625	783	699
前年同月比(%)	2.4	3.9	▲ 5.7	4.8	▲ 2.2	▲ 5.7	▲ 9.2	0.7	▲ 0.1

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成30年6月号 通巻506号

発行 静岡県経済産業部
平成30年6月

編集 経済産業部産業革新局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>